

教室掲示
お願いします

SSH 通信

第11号
平成31年3月4日発行
編集：Ⅱ年5組

タイ・韓国訪日研修

タイ訪日研修、韓国訪日研修が行われました（タイ：2月11日～15日、韓国：2月13日～16日）。この研修では、3カ国合同での科学共同授業も実施されました。15日には課題研究の成果をお互いに発表する機会も設けられました。

タイ訪日研修

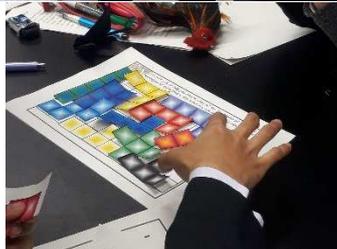
初日はタイと日本の生徒の顔あわせ、発酵に関する講義、市内観光を行いました。最初はみんな緊張していましたが、すぐに打ち解けました。市内観光では平和公園を少し案内した後に自由行動となり、夕方まで楽しい時間を過ごしました。



2日目は広島大学と酒類総合研究所へ行きました。研究所では前日に学習した内容をふまえながら話を聞くことができ、とても有意義な時間になりました。



3日目にはタイの先生による3カ国合同授業を受けました。最初の生物の授業では様々な生物の染色体のペアを探して、分類するという内容でした。2時間目の数学の授業では、ネットを使ってクイズ大会をしたり、問題



を解いたりしました。グループで協力して、説明しあったりすることができました。ふだんの勉強のこいもあって、外国の生徒ともコミュニケーションをとったり、情報を共有できたり、笑いあえたりできたのがすごく嬉しかったです。午後には、翌日のプレゼンテーションの発表練習とパーティーがありました。練習ではタイの友達の発表を聞かせてもらいました。タイの生徒の発表は全体として、開発して作り上げていくような印象が強く、何か課題を設定して解決していく日本との違いを感じました。パーティーでは、ディナーを食べました。韓国の人ともみんなで大変おしゃべりしました。



4日目はSSHの日でした。午前はGSコースの発表を紹介したり、校舎を案内したりしました。専門用語を説明するのは難しく、自分の英語の非力さを感じましたが、それでもなんとか発表内容を伝えることができました。午後は、自分の研究の発表を行いました。タイ・韓国の生徒もいろいろな発表を見て楽しめたそうです。



韓国訪日研修

今回の交流が2泊3日あると聞いた時は時間に余裕があると感じましたが、交流を終え別れる時になると、もっと交流する時間があればと何度も考えました。韓国の生徒も同じ気持ちだったのか、泣いている人もいました。そして、「受験が終わったら韓国に招待するね」と約束してくれました。こんな短期間で人と仲良くなれることに驚きました。とても充実した3日間でした。

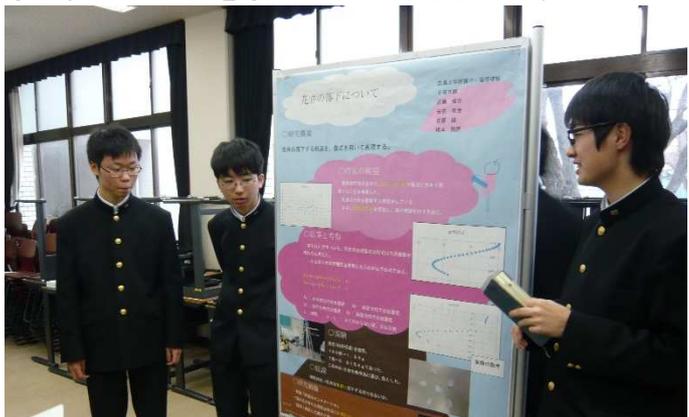


SSHの日

2月15日に「SSHの日」(日本・タイ・韓国の3カ国合同による課題研究成果発表会)が行われました。



当日は、ASコース(9件)、GSコース(33件)の発表に加えて、タイ・PCSHS ムクダハン校、韓国・ムンサンスオク高等学校、広島県立西条農業高等学校、広島県立広島国泰寺高等学校、安田女子中学高等学校による発表も行われました。最後には卒業生による指導助言も行われました。中学3年、高校1年の生徒も発表を見学し多くのことを学ぶことができました。



SSH研究成果発表会

2月16日に西条農業高校で行われたSSH研究成果発表会に参加しました。午前中は国連FAO駐日連絡事務所所長、ンブリ・チャールズ・ポリコさんの講義の後、SDGsについてのパネルディスカッションを行いました。チャールズ・ポリコさんの講義では、FAOの役割、食糧支援の重要性やその難しさ、更には世界の食糧事情、解決すべき問題点など普段知りえないような詳しいお話を聞くことができました。その後のパネルディスカッションでは、SSHのプログラムや個人的な経験を交えて様々な意見や考えが出て、自分に無い視点で様々な課題を捉えなおすことができました。

午後には、ポスター発表を行いました。西条農業高校では63テーマの研究が行われていました。西条農業高校はSSH指定を受けた全国初の農業高校という特色を生かし、どのテーマもかなり実践的な農業や食物に関するもので、化学グループの自分達からすると新鮮で、良い刺激を得られました。また自分たちの発表では、全国から集まった高校や大学の先生に様々な意見、アドバイスをいただき、自分たちの研究にかなり役立てることができそうです。

高大接続プログラム

2月20日にAS科学探究I、GS総合科学探究Iの授業時間を利用して、高大接続プログラムが実施されました。研究分野ごとにいくつかのグループにわかれて、大学の先生による研究に関する講義をきいたり、ポスター発表を行って指導助言をいただいたりしました。3月6日にも高大接続プログラムが実施されます。



(作成：Ⅱ年5組AS委員)